

過去問の学習方法

1. 過去問は最高のバイブルです。専門校の答練にも良問はありますが、やはり本試験に叶うものではありません。特に事例Ⅳの経営分析は、各企業の数値を徹底的に洗い出す練習をすれば、必ず本試験での対応力を確保できます。

DVDでは話していませんが、平成 24 年度の論点と同様のものは、平成 17 年度で予想財務諸表の問題が、16 年度で企業価値の問題が出題されています。Amazon やオクシオン等を利用してできるだけ過去問を解く事をおすすめします。

事例Ⅳの本番での対処方法

1. 最初の 20 分は、とにかく我慢。どこに配点があるか？そのうち自分は、どこで点を取るか（できるだけ単独問題）をしっかりと設計する。
2. 「いける」と思って途中まで実施した問題であっても、途中で無理と感じたら「すっぱり、あきらめる事」も大事
3. 記述問題は、とにかく「解答要求」と「与件」を照らし合わせれば、「何か」書く事は可能。過去の受験者から「あの答案でAとがビックリ」という声はよく聞きます。決してあきらめず、最後の 1 分まで力を振り絞ってください

平成 22 年の対処法（大問の配点はそのままで、設問の傾斜が極端な可能性あり）

①20 分間で設計

<確実に取りたい>64 点 点数は傾斜考慮後

第 1 問（設問 1 a.b で 20 点 c で 20 点）

a・b 名称・数値のうち 2 つ	13 点
c 記述 2 つ	13 点

第 2 問（設問 1①②各 5 点、設問②10 点）

（設問 1）	
①②必須	10 点
（設問 2）	10 点

第 3 問（設問 1 a 5 点、b 5 点 設問 2 10 点）

（設問 1）b 5 点、設問 2 5 点

第 4 問（設問 1 10 点、設問 2 5 点）

（設問 1） 8/10

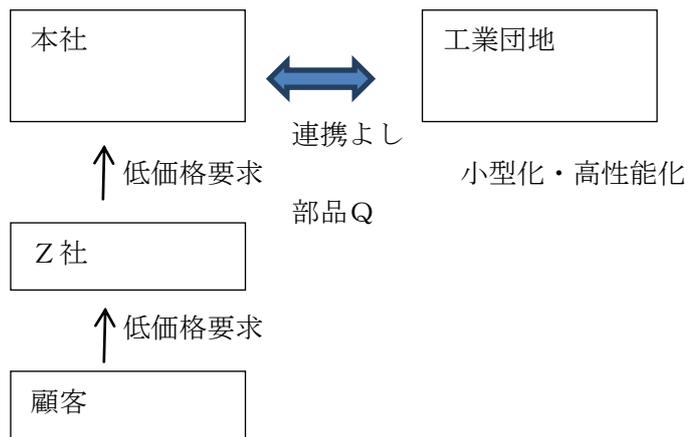
<取れたら嬉しい>+19 点

第 1 問 設問 1 の残り 1 つの指標 +7 点、記述 4 点

第 2 問 設問 2 の記述満点に +5 点

第 4 問 設問 2 +3 点

(解説)



価格競争力のために H20 リストラ済 (固定費・変動費とも対応難)

同業他社 (業界中位) との比較

端数処理はここに書いてる! (注意)

資料に従業員比較ある (使うかも)

第1問 同業他社と比べた長短所

第2問 感度分析 (BEP)
損益分岐図表の書き込み

第3問 設備投資による変動費下げ

第4問 債権価値、リスクヘッジ (知識問題)

<解説>

では、確実に取りたい論点から説明します

第1問

では今回の問題をD社と競合他者を比較してみましょう

	指標名	D社	同業他社
収益性	総資本経常利益率 (総合的な収益性を判定)	5.85%	2.17%
	売上高総利益率	14.23%	14.01%
	売上高営業利益率	5.00%	3.29%
	売上高経常利益率	4.46%	1.69%
効率性	総資本回転率	1.31回	1.29回
	棚卸資産回転率	10.64回	10.47回
	有形固定資産回転率	3.73回	3.70回
	売上債権回転率	7.80回	8.57回
短期安全性	流動比率	127.28%	133.43%
	当座比率	89.66%	91.34%
長期安全性	固定比率	132.11%	161.38%
	固定長期適合率	79.99%	81.87%
	自己資本比率	34.93%	32.89%
	負債比率	186.30%	204.04%

売上債権は貸倒引当金控除前を算出している

与件や他の設問から、回収状況の不安が書かれている時は、貸倒引当金控除後が望ましい

<与件分から考えられる指標>

製品の・・・安定した品質を実現・・・その割には総利益率に大きな差がない

(主要顧客のZ社からの低価格要求に対応が理由か?)

経常利益率の指摘が無難化(販管費・営業外費用の少なさ)

リストラ済・・・有形固定資産回転率

【同業他社との比較もあわせると】

長所：売上高経常利益率、自己資本比率

短所：売上債権回転率しょうか

第2問
(設問1)

	実績	①案	②案	第3問1-b
売上高	2,823	2,258.4	3,952.2	3,952.2
変動費	1,129	1,129	2,258	2,099.94
固定費	1,640	1,640	1,640	1,640+100
損益分岐点売上高		3,279.42	3,825.76	3,712.68

BEP 売上高=固定費÷貢献利益率という公式が頭に入っていれば
こんな電卓操作で簡単に出せます

$$\textcircled{1} 1129 \div 2258.4 = -1 = M+ \quad 1640 \div \boxed{RM} = 3,279.419 \dots$$

$$\textcircled{2} 2258 \div 3952.2 = -1 = M+ \quad 1640 \div RM = 3,825.763 \dots$$

設問2の記述は比較的簡単でしょう。総費用線は試験当日では対応しにくいでしょう。
でも、たぶん計算結果と記述で20点は確保できるはずです

第3問
設問1 b

上図の右端に記しました

$$2099.94 \div 3952.2 = -1 = M+ \quad 1740 \div RM = 3,712.668 \dots$$

記述は「損益分岐点下がるので投資行う」でも部分点はあるでしょう

第4問

日商簿記2級を学んだ方は社債の割引発行を思い出して下さい

ソミー株式会社 2%

大手都銀 金利 X%

ソミーと大手都銀を比べた時に、安全性は大手都銀の方が大きい(預金保険もある)

ソミーの金利が大手都銀を上回っていれば、額面でも購入してもらえるかもしれません

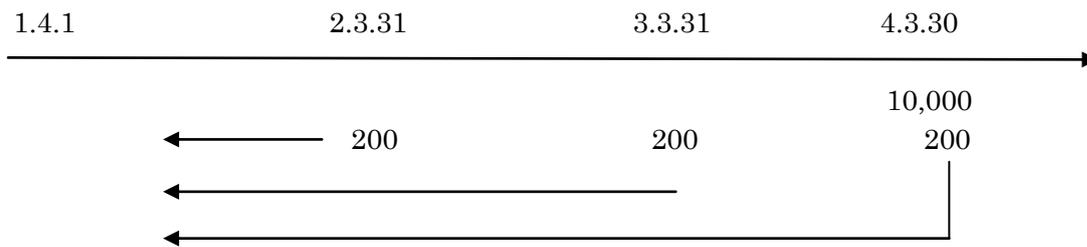
でも、大手都銀の金利が3.5%になったら、ソミーは実質4%にしないと買ってもらえませんね。そのあたりを記述すれば充分だと思います。ちなみに、割引発行価格の計算をみておきましょう。

<社債の割引価格の設定>

10,000円 SOMY		
クーポン利息2%		
200	200	200

But 銀行の利息3.5%

という事は SOMY は4%くらいにしないといけない



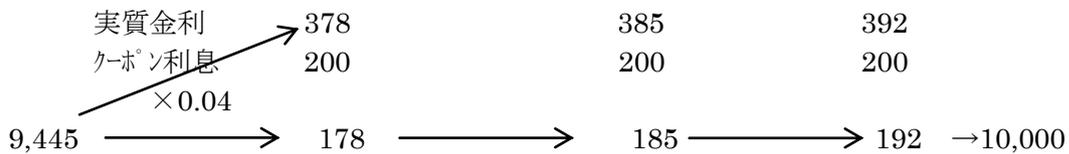
200円(2%)の金利は印刷済

この200円の金利を4%にするには、どうすればいい?

将来CFを1.04で割り引けばいいですね

$$10200 \div 1.04 + 200 \div 1.04 + 200 \div 1.04 = 9,445$$

検証しましょう



第4問 (設問2)

リスクヘッジの考え方です。

基本的には、先物取引かプットオプションだと思います

オプションは平成21年度で説明しますので、先物取引を説明しましょう

デリバティブは、数字の動くもの（相場のあるもの）なら何でも対象になる
会計処理は売買目的有価証券と同じ

2013.2.24 の NEWS

【ニューヨーク時事】週末 22 日のニューヨーク商業取引所(NYMEX)の原油先物相場は、ドイツの景気指標や米株高を好意した買いに、3 日ぶりに反発した。米国産標準油種 WTI の 4 月物は前日終値比 0. 29ドル高の 1 バレル=93. 13ドルで終了。5 月物は 0. 30ドル高の 93. 57ドルで取引を終えた。

この価格とガソリン価格が連動する

先物取引のイメージ（日本語にだまされず、入金と出金でイメージしよう）

（例）この国債を 3/31 に <1,000 円で売る約束> → 3/31 に 800 円で買えたら、1,000 円で売れるので 200 円得。こんな感じ

←
売建取引の例・・将来の売る権利を買う（決済時には買建を買って差額決済）

（権利証みたいなもの）を買う

1 月 20 日に「2 月 28 日に 970 円で国債を売る契約」をした
（5/31 に 970 円の入金がある）

2 月 28 日の決済時の相場は 940 円だった
（入金 970 円－出金 940 円＝30 円の得）

1/20 2/28
→
5/31 に 970 円の入金予定 決済日 940 円

売建取引は相場が下がると得、なので現物が下がってもヘッジできる

最後に、本当に余力があればという作業です

第3問 a

		現在	初年度	2年度以降
売上	CIF	3952.2	3952.2	3952.2
変動費	COF	2258	2190.26	2099.94
固定費	COF	1640	1640	1640
減価償却費			100	100
利益		54.2	21.94	112.26
法人税	COF	21.68	8.776	44.904
CF		32.52	113.164	167.356
増分			80.644	134.836

これは Excel で作りました。手計算では間違いました。本試験では、時間のない中正確な計算をする事は難しいと思います。得意な方であれば、変動費の差額とタックスシールドで計算するという方法を使えば比較的簡単に算出は可能です。

上記計算ができれば

$$(134.836 \times 3.4651 + 80.644) \div 1.06 - 500 = 16.853\dots$$

変動費の差額のみを税引前収入として計算できる方は

$$\left(\frac{158.06 \times 0.6 + 100 \times 0.4}{94.836} \times 3.4651 \right) \div 1.06 + \left(\frac{67.74 \times 0.6 + 100 \times 0.4}{40.644} \right) \div 1.06 = 516.849$$

$$\frac{467.22}{440.77} \qquad \frac{80.644}{76.07}$$

という計算でもOKです